

POINT 1

最低基準がHEAT20 G2 それをはるかに上回る基本設計

UA値 0.32 W/m²・K Q値 1.19 W/m²・K

C値 0.17 cm²/m² (中間時) 耐震等級3 + 制振性能

これにより、この家族を50年、60年、70年…と守り続けます。

POINT 4

建物のエントランスと照明についての考え方

お客様を招く時に大切なのが、外部側から玄関までの動線とデザイン、そして第一印象です。

玄関ホールというのは、機能的でなければならないため(靴の脱ぎ履き・

シューズクローク・コート掛け・小物置き・手洗いなど…)どうしても生活感が出てしまいます。

それでもいいかもしれませんが、出来ればオシャレにスキッリデザインしたいものです。

照明も同じ考え方で夜暗い時にただ生活が出来ればいいと思いがちですが、

照明器具というのは、昼間灯りをつけなくても、器具自体は存在します。

これも出来ればおやみに天井につけるのではなく、出来るだけ光源が見えない設計を

するようにしたほうがいいと思えます。

～色々な思いをカタチに～

POINT 2

環境問題への配慮も忘れずに…

太陽光パネル 13kw以上搭載(パワコンにて10kw以下)

太陽光パネルを過積載する事により、天候的に不利な環境(くもり、雨の時)でも最大出力の発電ができるようにしています。EV用の外部コンセントも2ヶ所標準としています。



POINT 5

造付け家具やニッチの数々、空間を包む檜の香り…

三幸住宅ならではの造付け家具のデザインと、使い勝手の良さ、そこにある

ニッチ1つでさえも生活を豊かにしてくれる。さらにLDKの壁、一部天井は

檜の板張りにし、家族が集まる空間を檜の香りが包みます。

POINT 3

建物デザインと植栽

家を設計する時には植栽もセットとして、考えることが基本になります。

「木は手入れが大変だから いらない…」というお客様も多いと思いますが、ポイントだけ 少量でいいので、目隠し 日よけなども踏まえて、造園をするとそれだけで、家の雰囲気が大きく変わります。

POINT 6

18帖のLDKから続く 約11帖のウッドデッキ

現在の住宅設計において、室内と屋外の境界(中間ゾーン)をどう繋いで生活の楽しさ、豊かさ、を取り入れるか? というのが、主流になっています。

季節のいい時には、LDKと一体として使うことで、29帖程のLDKとなり、ここで食事やお酒、読書やお昼寝…

その時々でご家族が自由に使って楽しめるフリースペースとなります。

日よけや、少しの雨などはしのげる 電動オーニング(格納屋根)も完備して、春夏秋冬と色々な使い方ができると思います。

見学会に対してのコロナ対策

見学会は完全予約制、一つの時間枠、一組までとさせていただきます。

スタッフ並びに関係者一同マスク、手袋など出来るだけの対応でご案内させていただきます。

当日は、ご来場者様にもご協力をお願いします。

- 消毒液を設置しますので、手指の消毒をお願いします。
- マスクの着用 (こちらで準備いたします)
- 手袋の着用 (こちらで準備いたします)
- 各回の換気は十分に行います。

誰もコロナにうつらない、誰にもうつさない行動にご協力をお願いします。

コロナ禍で、家の重要性を実感する世の中で…

新型コロナウイルスが蔓延し、自粛生活を強いられて、家で過ごす時間が長くなったのは当然…仕事でさえもテレワークもよぎなくされるようになりました。

お客様がこれからどんな「家づくり」をしようかと考える機会が増え、本来日本の住宅業界が取り組まなければならない家づくりのカタチに、より加速しながら近づいています。住まいの総合的な性能を、あらゆる自然災害への対応をしながら、健康的で経済性を守りつつ向上させる。

その家が未来に価値を失わず、長く住み継がれる。三幸住宅では、これを最低の標準仕様としています。